

## 令和5年度 創立記念式での講和（12月7日）

みなさん、おはようございます。今日は、蔵増小学校が創立された日、創立記念日です。今年で149年、来年で150年になりますが、本当に長い間、地域の人たち、卒業生などに蔵増小学校は大切にされてきました。

では、ちょっと難しいところもありますが、蔵増小学校ができたあたりのエピソードについて、みなさんにお伝えしたいと思います。実は、今の蔵増地区には、最初、いろいろな学校がありました。なぜなら、蔵増地区にはいくつかの村があり、それぞれに学校をもっていた歴史があるからです。

一つ目は、窪野目学校です。窪野目学校は明治7年4月に開校しました。男子が40人、女子1人が入学し、一人の男の先生が教えたそうです。高野辺の人たちも通っていたと言われています。

二つ目は、蔵増学校です。蔵増学校は明治7年12月に開校しました。場所は、西常得寺の本堂を使っていたそうです。

三つ目は、塚野目学校です。塚野目学校は明治8年12月に開校しました。最初、塚野目の子供たちは、蔵増学校に入学しなくてはならなかったのですが、学校が離れていて通学が大変なため少しの人しか入学しなかったそうです。1月に蔵増学校の分校として開校し、その後新たに学校として独立しました。

最後に、矢野目地区についてです。実は明治時代に他の地区に学校ができたのに、矢野目地区に学校ができませんでした。理由は、戦争でたくさんの方が家が焼けてしまい、学校をたてることができなかったからです。

でも、明治37年に割田尋常小学校として、今の明幸園のところに小学校として開校しました。その後、大正5年に蔵増小学校の分校となり、統合されて、今に至っています。

このように、蔵増地区にはたくさんの方が学校がありました。しかし、なぜ、こんなに学校があつたのでしょうか？それは、みなさんのご先祖、ひいじいちゃんや、ひいひいじいちゃんなどの人たちが、自分たちの子供のために、学校が必要だと決心してお金を出し合い、頑張って、頑張って学校を建てたからです。そのように地域の人達の思いや願いを受けて、これまで大切にされて、この蔵増小学校はきたのです。

さて、みなさん、すこ～しですが、学校の歴史がわかったでしょうか？明治や大正などの古い年号もでてきましたし、尋常小学校などという聞いたことがない名前も登場しました。これを機会に、学校の歴史を調べたり、おじいちゃんやおばあちゃんに昔の学校のことを聞いたりして、自分の知らない蔵増小学校について、わかっていくといいですね。

これで、校長先生の話が終わります。